

## 守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の結果について

### [守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議とは]

地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定・推進・評価に当たって、様々な分野の人材から構成される有識者会議を設置することとなっており、守谷市も「守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱」に基づき会議を設置しています。会議構成員は、以下のとおりです。

No.	区分	団体等の名称
1	産	守谷市産業地域協力会
2	産	守谷市商工会 青年部
3	産	茨城南青年会議所
4	産	茨城みなみ農業協同組合
5	学	筑波大学
6	金	常陽銀行
7	労	関東鉄道株式会社労働組合
8	労	厚生労働省 茨城労働局 ハローワーク常総
9	市民	PTA 連絡協議会
10	官	地方創生コンシェルジュ
11	官	茨城県計画推進課
12	デジタル	守谷市 DX アドバイザー

令和7年11月12日に会議を開催し、令和6年度守谷市まち・ひと・しごと総合戦略の総合評価について、次のような評価をいただきました。

#### ①総合戦略の評価一覧

成果指標は、令和6年度の事業の評価が適切にできるよう現状値(令和2年度)から目標値(R8年度)の数値を案分して、算出された目標値に基づき評価をした。

17の成果指標のうち、8つがD評価(達成率「低」としたが、各評価において、目標値と乖離がある場合も、要因の分析を行うことで、需要と供給のバランスなどを把握し、R7年度への活動へ反映させるとともに、次期計画に活かせるよう進めること。

#### ②デジタル田園都市国家構想交付金

デジタル実装タイプにおいて、「戸籍証明書のコンビニ交付事業」では、住民の満足度を含め目標値を達成しているが、今後も情報発信を努めていくこと。

「実態把握に基づいた個別最適な支援を実現するICTサービスの導入事業」では、令和6年度の反省を踏まえ、各学校への伴走支援を充実させ、目標達成に向けて進めること。

令和7年度のデジタル実装型5件については、好事例内容を庁舎内で共有し、横に展開していくこと。

地方創生推進タイプについては、令和7年度が最終年度となる「豊かな自然と人の賑わい共存するサステナブルな駅前拠点創出プロジェクト」においては、最終年度となるため、交付金終了後に自走できるよう進めること。

「インナープロモーション推進プロジェクト」については、各事業ともに順調ではあるものの、引き続き最大限の効果が得られるよう分析を行いながら進めること。

### ③企業版ふるさと納税

引き続き、マッチング支援サービスを活用することで支援事業者との関係性を継続するとともに、近隣の市町村の動向を踏まえ、目標を明確に設定することで、取組をより進めていることができることと期待する。